

昔在同 昔時同 昔者同 曩ムカシ 曩者シムカ 曾ムカシ 昨ムカシ 稜反

〔日本釋名上時節〕昔ムカシ むなしといふ詞横の通音にて、かとなと通ず、過去たるあとの事はむなしき也。

〔倭訓栞前編三十一〕むかし 昔をよめり、神代紀に嘗をよみ、古語拾遺に久代とも書り、向ひしの義なり、向字をさきにともよめる意過にしかたといふなり、昔在、在昔、昔者皆同じ、古今集、土左日記などに、むかしべともいへり、へはいにしへの如し。

〔竹取物語〕今はむかし、竹とりの翁といふものありけり、略下

〔今昔物語一〕釋迦如來人界宿給語第一

今昔、釋迦如來未ダ佛ニ不成給ケル時ハ、釋迦菩薩ト申テ、兜孛天ノ内院ト云所ニ住給ケル、

〔古事記中應神〕昔有新羅國主之子名謂天之日矛、是人參渡來也、

〔日本書紀孝德二十五〕大化二年三月壬午、皇太子使使奏請曰、昔在天皇等、世混齊天下而治、略中 現爲明

神御八島國、天皇問於臣曰、其群臣連及伴造國造所有、昔在天皇日所置子代入部、皇子等私有御名入部、皇祖大兄御名入部、謂彦人及其屯倉、猶如古代而置以不、略下

〔伊勢物語上〕昔ものいひける女に、年ごろありて、

古のまづのおだまきくりかへしむかしを今になすよしもがな、といえりけれど、なにとも思

はずや有けん、

〔古今和歌集雜九〕ふるうたにくはへて、たてまつれるながうた、

あはれむかしへ、ありきてふ、人まるこそは、うれしけれ、略下

〔類聚名義抄二〕當時カミ 憶昔カミ

〔書言字考節用集二時候〕誰昔カミ 當時カミ 當年カミ 前集 當初 宿昔カミ 白文 徑前カミ 錄堂 上世カミ 紀日本

壬生忠岑